NISSAY ASSET MANAGEMENT

週間市場レポート（2022年3月7日～3月11日）

1）先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/3/4	先週末 2022/3/11	前週末比 (%)
日経平均株価（円）	日本	25,985.47	25,162.78	▲ 3.17 ↘
ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）	日本	1,844.94	1,799.54	▲ 2.46 ↘
ダウ工業株30種平均（ドル）	米国	33,614.80	32,944.19	▲ 1.99 ↘
Ｓ＆Ｐ500種指数	米国	4,328.87	4,204.31	▲ 2.88 ↘
ナスダック総合指数	米国	13,313.44	12,843.81	▲ 3.53 ↘
ユーロ・ストックス50指数	ユーロ	3,556.01	3,686.78	3.68 ↗
Ｓ＆Ｐ/ＡＳＸ300指数	豪州	7,108.05	7,062.38	▲ 0.64 ↘
上海総合指数	中国	3,447.65	3,309.75	▲ 4.00 ↘
MSCI AC アジア（除く日本）※		893.71	858.88	▲ 3.90 ↘
東証ＲＥＩＴ指数	日本	1,890.10	1,874.16	▲ 0.84 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	米国	894.40	880.37	▲ 1.57 ↘
ＡＳＸ300 ＲＥＩＴ指数	豪州	1,569.80	1,562.00	▲ 0.50 ↘
グローバルＲＥＩＴ（除く日本）※		210.86	209.34	▲ 0.72 ↘
日本10年国債（%）	日本	0.163	0.185	0.022 ↗
米国10年国債（%）	米国	1.731	1.992	0.261 ↗
ドイツ10年国債（%）	ドイツ	▲ 0.069	0.249	0.318 ↗
英国10年国債（%）	英国	1.208	1.491	0.283 ↗
ドル/円	米国	114.82	117.29	2.15 ↗
ユーロ/円	ユーロ	125.55	127.96	1.92 ↗
英ポンド/円	英国	152.13	152.95	0.54 ↗
豪ドル/円	豪州	84.67	85.55	1.03 ↗
フィラデルフィア半導体指数		3,258.92	3,144.15	▲ 3.52 ↘
ＷＴＩ原油先物（ドル）		115.68	109.33	▲ 5.49 ↘
ＣＲＢ指数		299.95	295.11	▲ 1.62 ↘

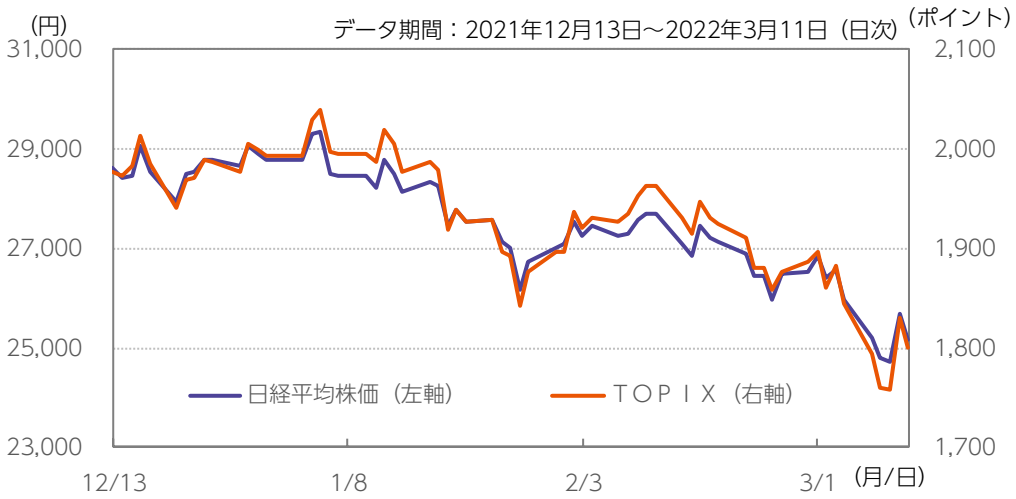
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース　＊ ▲はマイナスを表します。

2）日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。

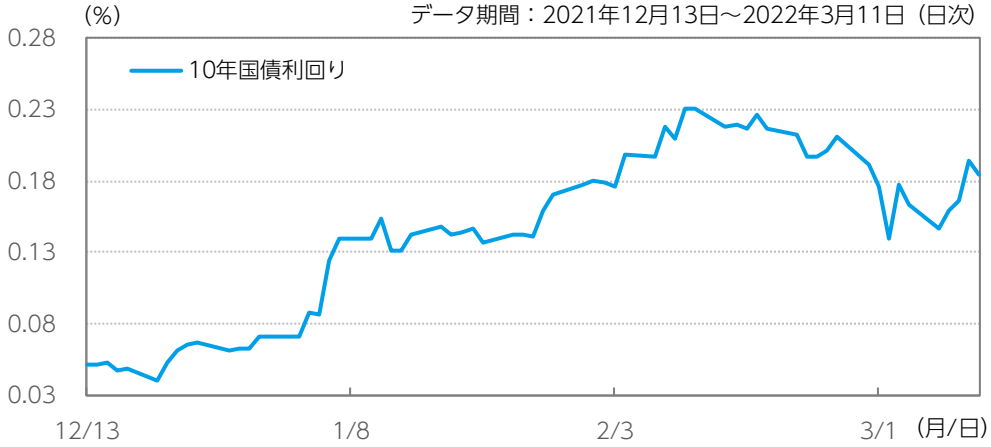
ウクライナへの軍事侵攻を加速するロシアに対し、米国がロシア産の原油の輸入を禁止するなど主要国が経済制裁を強化しており、今後、エネルギーなどの資源価格の高騰が世界景気の回復を鈍化させるとの懸念から、前週末から9日（水）まで4日続落しました。アラブ首長国連邦が主要産油国に増産を促す意向を示したことから原油価格の高騰が一服すると、10日（木）は5日ぶりに大幅上昇したものの、週末は、ロシア・ウクライナの停戦交渉に進展が見られず、ウクライナ情勢のさらなる悪化懸念から再び下落しました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。

ロシア・ウクライナ間の停戦交渉に進展が見られないなど、ウクライナ情勢をめぐる先行き不透明感から、安全資産とされる債券が買われる場面もあったものの（利回りは低下）、原油価格の上昇により米長期金利が上昇した流れを受け、国内金利も上昇基調をたどりました（価格は下落）。

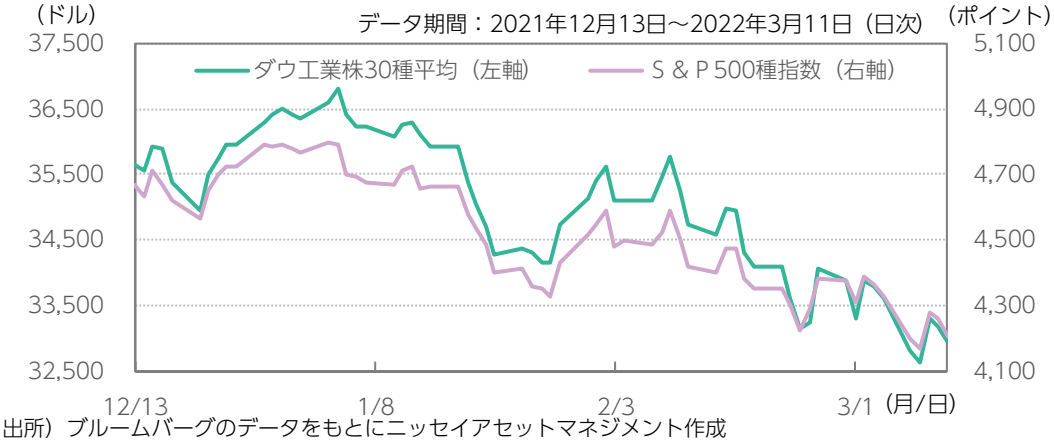


3）米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落しました。

エネルギー価格の上昇による世界経済への影響が懸念され、週初は大幅下落となりました。石油輸出国機構（OPEC）加盟国が増産に動くとの思惑から原油価格が大幅下落すると景気減速への懸念が和らぎ上昇する場面もあったものの、週末にかけては、ロシア・ウクライナ情勢の悪化懸念が再び強まったことや、2月の米消費者物価指数（CPI）の伸びが前月から加速し、米長期金利が上昇したことで割高感が意識されやすいハイテク株を中心に下落しました。

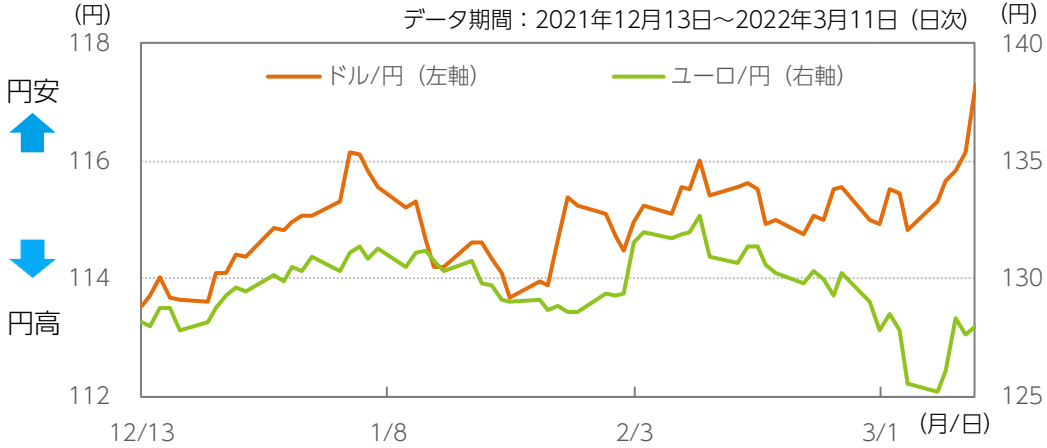


出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4）外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。

バイデン米大統領がロシア産原油などの輸入を全面的に禁止すると表明したことでエネルギー価格などが上昇し、インフレ加速懸念から米長期金利が上昇すると、日米金利差の拡大を見込んだ円売り米ドル買いが優勢となりました。10日（木）に公表された2月の米CPIが前年同月比+7.9%と前月から伸びが加速し、インフレ懸念が一段と高まったことも円売りを促しました。



5）今週の見通しについて

先週の株式市場は、ロシアへの経済制裁を通じたエネルギー価格の高騰が、世界経済に悪影響を与えるとの懸念から、日米両市場ともに下落しました。

ウクライナとロシアは10日（木）にトルコで外相会談を開きました。ロシアがウクライナに侵攻を開始してから初の閣僚級会合となったものの、停戦合意に向けた大きな進展はみられず、交渉は継続する見込みです。ロシアは、ウクライナが永久に北大西洋条約機構（NATO）に加盟しない確約のほか、ゼレンスキー政権の退陣など強硬な条件を要求していることから、交渉は難航することが予想されます。

ロシア産原油の禁輸など米欧がロシアへの経済制裁を強化したことで急騰していた原油価格は、OPEC加盟国が増産に動くとの思惑や、米国のシェール増産への期待などから大幅下落しました。今週は、日米の金融政策決定会合が開かれます。日銀は金融政策の現状維持が予想されますが、米連邦準備制度理事会（FRB）は市場の予想通り0.25%の利上げに踏み切る見込みです。週前半の株式市場は様子見ムードから動きにくい展開となりそうですが、加速するロシアの軍事侵攻や停戦交渉の行方をめぐり、引き続き、日米両市場ともに値動きの荒い展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/